科目名 Subject	異文化理解 Cross-cultural Understanding		教員名	下高原由記	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選択必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	△	○	◎
科目の概要	グローバル時代と言われる今日、国際人として求められる要件は言語や世界共通のルール・マナー、他国の生活様式や価値観を理解し受容できることです。この授業では、異文化を比較し理解を深め、違う価値観を学び受容することで、国際人としての考え方を構築し、能動的な行動に移せる人材を輩出するよう、コミュニケーションスキルを意識しながら授業を展開していきます。また美歳学では日本文化を意識し、日本人の幼少期からの歳を重ねる美徳も考えていきます。				
授業の目標	世界の国々の文化の違い（衣食住・宗教等）に理解を深め、それぞれの価値観の違いに着目することで、異文化間のコミュニケーションの重要さに気づくことができます。 また、日本・海外問わず国際人として言語、非言語を使い、互いに理解を深める行動ができるよう国際人としての一般常識とコミュニケーション論を習得し、実践できるようになります。				
時間外学習 （予習・復習）	知識習得確認のための小テストを授業内で数回実施しますので小テスト準備も行って下さい。毎授業のポイントの予習復習やグループワークを活性化する為、役割分担している部分の予習復習をしてください。各回の予習復習は概ね60分から90分を見込みます。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	プリントを適宜配布します			
	使用設備・備品	プロジェクター、スクリーン、ＤＶＤ再生等ＡＶ機器			
	参考文献	必要に応じて提示します			
評価方法	授業参加意欲30%、レポート提出、グループ発表（併せて４０%）、筆記試験30%の結果等を総合的に評価します。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
	授業内で理解度を確認し、知識の再習得を行います。				
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加すること。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	【オリエンテーション】 異文化理解とは何かを考える	授業の進め方を周知し、この授業の全体像を把握する	「異文化」という言葉の意味を調べ、テキストを読み、今後の授業の予習をする
第２回	【見える文化】 世界地理を確認し学ぶ	世界地図から見える宗教、民族、言語、食文化の特徴を学び、理解を深めることができる	学んだ項目を各自で復習し、予習として理解を深めたい国を事前に選ぶ
第３回	【見える文化】 世界地理を再確認し、大陸ごとに理解を深める	大陸を意識した勉強を進めることで、世界の特徴などの理解を深めることができる	学んだ内容をまとめ復習する。予習として学びを深めたい国の特徴等を調べる
第４回	【見える文化】 興味のある国を選び、日本文化と比較しながら更なる理解を深める	グループワークでプレゼンテーションに向けて準備を進め、異文化を深く理解することができる	各自で調べた情報をグループ内で共有しまとめる。さらに必要な情報を予習として調べる
第５回	【見える文化】 選んだ国と日本文化を更に比較しながら聴き手を意識した理解を更に深める	各自が調べた内容をグループ内に共有しプレゼンの準備を進めることで更に文化の理解を深めることができる	各自で調べた情報をグループ内で共有しまとめる。さらに必要な情報を予習として調べる
第６回	【見える文化】 選んだ国の文化について他の学生の理解が深まるようプレゼンを実施する	グループ毎のプレゼンテーションを実施し発表内容を全体共有することで、他の文化に対する理解を深めることができる	他のグループ発表の内容も含め、プレゼンの内容をまとめ、レポートを作成する。また次週のテキストを事前に予習をする
第７回	【マインドセット】 異文化の内訳と常識を考える	見える・見えない文化を学び、多文化に対応できる常識の意識を深めることができる	今後のコミュニケーションに対する工夫点を見出し、まとめる。次週の実施項目のテキストの予習をする
第８回	【マインドセット】 文化の成り立ちと５つの特徴	トータル・サブカルチャーの学びから、各自の自分化中心主義を持っていることを認識することができる	学んだ内容を自分に照らし合わせまとめる。予習として自分と他者の良いところを予め考える
第９回	【マインドセット】 自分を知る	自己開示を客観的に計測し、他者からの自分の良さを知ることができる	これまでの学習ポイントを再度復習し、今後どのようにその内容を活用できるか予習として考える
第１０回	【マインドセット】 異文化の疑似体験から気づく学び	ゲームから異文化に対する気持ちを体感し、今後の多文化への対応を個々に見出すことができる	ゲームから学んだ工夫点をまとめる。予習として自分が大切にしている価値観についてイメージを持つ
第１１回	【マインドセット】 様々な価値観について学ぶ	各自の価値観と世界の価値観の違いと合わせ方を学ぶことができる	学んだ内容をまとめ復習する。自分の価値観を今後どのように変化させていくか予習として考える
第１２回	【マインドセット】 異文化の認識について学ぶ	固定概念とステレオタイプを客観的に学ぶことができる	学んだポイントをまとめ復習する。またその内容がどのようなことに繋がるか、予習として考える
第１３回	【マインドセット】 差別について考える	VTRを視聴し、差別に対し今後自分ができることを見出すことができる	VTRの感想をレポートとして作成し、復習する。他者とのコミュニケーションの中で苦手としていることを予習として考える
第１４回	【コミュニケーションスキル】 多文化間に有効なアサーティブコミュニケーションを学ぶ	円滑な相互交流に向けて活用できるコミュニケーションスキルを理解することができる	第1回から14回までの復習ポイントを見直し、全体の振り返りの予習をする
第１５回	まとめ	14回の授業を振り返り学んだスキルと知識を今後どのように生かしていくか見出すことが出来る	全体の振り返り授業全体の理解を深める（60分）